

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

かがやく山内西の子

山内西小 HP:<http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校
学校だより No. 11
令和元年6月10日発行
文責：校長 石橋佳樹

※「学校だより」はホームページからもご覧いただけます。鮮明な画像でご覧ください。

【2019 アウトリーチ 「邦楽の扉～箏、薩摩琵琶、津軽三味線」】

和楽器が 奏でる音色の 心地よさ 歓喜の拍手 幾度も響く

| ＜プログラム＞ | |
|---------|---|
| ・プロローグ | 即興：山内町のイメージから 三楽器アンサンブル |
| 1 | 祭りの太鼓(箏 ことの調べ) |
| 2 | 西郷隆盛物語(薩摩琵琶の語り) |
| 3 | 津軽じょんがら節(津軽三味線 奏者と一緒に) |
| 4 | 体験コーナー |
| ・エピローグ | さが・さが・さが奏 三楽器アンサンブル ～武雄の山々自然の声に耳を傾けよう～ |

自称『邦楽三人娘』。武雄市文化協会のご尽力で実現したプロの演奏家による演奏会が、7日(金)3時間目に開催されました。和楽器の生演奏を聴ける機会などそうそうありません。左記が、当日のプログラムです。3つの楽器のアンサンブルあり、それぞれの楽器の魅力を活かしたソロの演奏あり、また、代表児童への体験コーナーありと、短い時間でしたが、十分堪能できた40分間でした。



ぜひ、プログラムを参考に、ご家庭での会話の種にしてください。「どの曲が一番印象に残ったの?」「演奏するならどの楽器がいい?何が気に入った?」等々。子どものそれぞれの感性・個性が、その回答の中に隠れているのではないのでしょうか。

山西っ子の、感性の豊かさが垣間見えた一幕がありました。「3 津軽じょんがら節」の奏者 高橋さんが、「演奏の途中で、惹かれるフレーズに出会ったら、拍手してもらえたらうれしいです。」と注文。だからといって、なかなか簡単にできるものではないのですが、曲の途中で、高学年あたりから、演奏に応える拍手が自然とわき起こってくるではありませんか…。次第に、会場全体が演奏の波に乗って拍手の渦に。

校長は、このひとときをととても心地よく感じました。何というか、子どもたちの、音楽に対して真っ直ぐに向き合う心根のよさ。真綿のような、真っ白な心の純粹さを感じたのです。とても幸せな気分になることができました。邦楽三人娘の演奏後のコメント。「こんなに、熱心に聴いてくれた学校は初めて。うれしい。」とのこと。これを聞いてまたにっこり。保護者の方々にも、私がぜひ伝えたかったご報告です。